

【いわて支援研・研修】

ケアのリスクマネジメント研修会

介護職・福祉職・看護職の人材養成のためのシステム・アプローチとは・・・
ケアのリスクを減らすためのクオリティ・インプルーブメントとは・・・
個人と組織のケアのレジリエンスとは・・・

	日 程	会場	時間
1回目	平成27年6月6日(土)	盛岡市勤労福祉会館 4階会議室 (盛岡市紺屋町 2-9)	・ 受付開始 9時30分 ・ 講 義 10時～17時
2回目	平成27年7月11日(土)	岩手県民会館4階会議室 (盛岡市内丸 13-1)	
3回目	平成27年9月5日(土)	アイーナ 5階 501号会議室 (盛岡市盛岡駅西通 1-7-1)	

講 師 佐々木裕彦氏 特別養護老人ホーム青山和敬荘施設長
照井 孫久氏 石巻専修大学人間学部教授
千田 睦美氏 岩手県立大学看護学部准教授

受 講 者 介護サービス事業所のリスクマネジメント担当者

定 員 50人 (先着順、定員になり次第受付を締め切ります)

料 金 (資料代等)3,000円 × 3回 = 9,000円

申込方法 申込みは別紙申込書によりFAXにて。受付期限は平成27年5月30日。受付順。

ケアのリスクマネジメント研修会が目指すところ

介護や看護のリスクマネジメントでは次の3つのアプローチが可能です。①リスクを全面的に否定し、リスク要因を徹底的に排除することを目指す。②リスクの可能性を受け入れ、リスクを最小限に止めることを目指す。③リスクの可能性を認め、リスクの分散を図る。この3つのアプローチの中で、①リスクの全面的否定は、考え方としては良くわかるのですが、実際の介護や看護の実践の現場では非現実的です。このアプローチを採用する場合は、ケアの質の低下など非常に大きな弊害が生じることが予想されます。次に、③のリスク分散は、介護事故や看護事故への保険による対応として理解することができます。このアプローチではリスクの問題は金銭的な問題として取り扱われることとなりますが、施設や事業所が社会的な責任を果たしていくうえで、最終的に必要とされるものです。

上の2つリスク対応の考え方に対して、②リスクの最小化を目指す取り組みは、介護や看護の現場で最も一般的に取り入れられているアプローチといえます。「ケアのリスクマネジメント研修会」では、②リスク最小化のためのアプローチを基本に据えて、社会福祉における組織管理を重視する“システム・アプローチ”、ケアの質を確保しながらリスクマネジメントに取り組む“クオリティ・インプルーブメント”と“ケアのレジリエンス”、看護ケアにおける“実践的管理手法”についての基礎的な理解を深めていただくことを目指します。

カリキュラム

1回目 平成27年6月6日(土) 盛岡市勤労福祉会館 講師:佐々木、照井、千田

- ◆福祉システムにおけるリスクマネジメント
組織としてのリスクマネジメント
- ◆ケアとリスクの関係の理解
ポジティブ・リスクとネガティブ・リスク
クオリティ・インプルーブメント
- ◆ケア実践の場におけるリスクマネジメントの考え方
リスクに関する予見感受性とは

—教材の例示—

- ・「運営（経営）管理マニュアル」、全430頁
- ・対訳 ISO31000：2009、リスクマネジメントの国際規約、他

2回目 平成27年7月11日(土) 岩手県民会館4階会議室 講師:佐々木、照井、千田

- ◆福祉システムにおけるリスクマネジメント
実践に向けて
- ◆ケアとリスクの関係の理解
ケアのレジリエンスを高めるための実践に向けて
- ◆ケア実践の場におけるリスクとリスクマネジメントの実際
リスク分析に基づいた、ケアの質向上のための取り組み

—教材の例示—

- ・SHELLモデルによるリスク分析
- ・橋本泰子（座長）「福祉サービスにおける危機管理（リスクマネジメント）に関する取り組み指針」、他

3回目 平成27年9月5日(土) アイーナ5階会議室 501 講師:佐々木、照井、千田

- ◆福祉システムにおけるリスクマネジメント
実践の評価法
- ◆ケアとリスクの関係の理解
リスク分析とチームケアの評価
- ◆介護・看護におけるリスクへの対応
業務記録とリスクマネジメント・リスクの予見感受性
ケア提供者としてのリスク回避とリスクへの対応

—教材の例示—

- ・ケア事業所リスクアセスメント表（Ver1.0）：68項目
- ・リスクマネジメント・チェックリスト：60項目
- ・ケアの自己評価スケール DC-SEM/DTC-SEM、他

講師紹介

■ 佐々木裕彦 講師

1979年東北福祉大学社会福祉学部卒、特別養護老人ホーム山岸和敬荘勤務。1994年東北福祉大学大学院修士課程修了。1997年特別養護老人ホーム青山和敬荘施設長、2003年法人岩手和敬会法人事務局長に就任。現在、東北福祉大学特任准教授のほか、岩手県立大学大学院及び盛岡短期大学、岩手看護専門学校の非常勤講師を勤める。集大成として運営（経営）管理マニュアルを完成。

■ 照井孫久 講師

1974年弘前大学人文学部卒、特別養護老人ホーム大谷荘勤務、特別養護老人ホームさくら爽施設長、2009年東北公益文科大学公益学部准教授 2014年石巻専修大学人間教育学部教授。社会福祉士。社会福祉学博士。専門分野は福祉サービス評価、福祉サービスリスクマネジメント。

■ 千田睦美 講師

岩手県立大学看護学部准教授。東京女子医科大学大学院看護学研究科修了（看護学博士）。看護師。著書は「実践から学ぶ高齢者虐待の対応と予防（共著）」「看護倫理 看護の本質を探究・実践する（共著）」など。地域密着型サービス外部評価調査員として現場でも活躍中。

◆お問合せ先◆ NPO法人いわての保健福祉支援研究会

〒020-0021 盛岡市中央通三丁目7-30

電話 019-604-8862

FAX 019-604-8863